

本時のねらい

自分の将来の夢を聞き手にわかりやすく紹介しよう。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

プレゼンテーションを使ったスピーチにすることで、より自分の将来を聞き手にわかりやすく伝えるようにする。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ AppleTV
- ・ 写真
- ・ カメラ
- ・ Safari
- ・ Keynote
- ・ イヤホン付きマイク

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の食べ物についての動画を視聴する。将来の夢、きっかけ、理由などを思い出す。 ○本時のめあて「将来の夢を聞き手にわかりやすく紹介しよう。」 	
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ○夢、理由 1、理由 2、一言の 4 枚のプレゼンテーションを作成する。 ○AET が録音したものを聞き、その発音に近づける。 ○発表ルーブリックを見ながら自分の発表を改善していく。 ○発表録画を先生に提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストを入れて、聞き手がよりわかりやすいプレゼンテーションを作成する。 ・画面収録を使って、AET の発音と比べながら、自分の発表を見返す。友だちに聞いてもらい、改善点があれば出し合う。 ・オクリンクを使い、完成したプレゼンテーション動画を提出する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちの動画を見て、自分の発表に生かす。 ○振り返りを行う。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 : 発表の内容に合わせて、資料を作成している場面



写真 2 : AET の発音を何度も聞き返している場面



写真 3 : スライドに合わせて音声を録音している場面

児童生徒の反応や変容

iPad に向かって発表するということを少し恥ずかしそうにしていたが、何人もの生徒が完成したものを提出していくにつれ、未提出の生徒も恥ずかしがらずに発表することができるようになっていた。自分の発音を聞いて、「AET の先生と全然違う。」と言って、その後再度 AET の発音を何度も聞いて練習する生徒もいた。iPad で録画録音することで、失敗しても何度も撮り直しをし、完璧な発音をめざすことができていた。また授業者の声かけで、身振り手振りを加えて発表できている生徒が増えた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

AET の録音を iPad に送ることで、ネイティブの発音を聴き、自分の発音に生かすことができた。またプレゼンテーションで画面録画することで、自分が納得できるまで何度もやり直すことができた。発表ルーブリックを用意したことにより、発表の評価のポイントを事前に知り、そのポイントを意識しながら、身振り手振りを加えて発表するなど前回の授業よりも、よりよいものにしようという生徒が増え、効果的な活用となった。